

2025年

冬号

出会い、つながり、広がる笑顔

ボランティアコミュニケーション

今号のトピックス

子どもたちの成長をサポート!

子ども応援ボランティア



学習支援

こども食堂

ほほえみごはん

問合先

社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

おおた地域共生ボランティアセンター

TEL.03-3736-5555 FAX.03-3736-5590

〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター5F

開所日時：(月)~(土) 8:30~17:15 《日曜日・祝日・年末年始を除く》

メール : voc@ota-shakyo.jp



子どもたちの成長をサポート!

子ども応援ボランティア



子どもは一人ひとりが限らない成長の可能性を持っています。

可能性の芽がのびのびと育つ環境をつくるため、地域では、子どもたちを多方面から応援するボランティアさんたちが活動しています。

家庭や学校以外で、子どもたちや家族の方々が安全・安心で心豊かに暮らせる生活環境づくりを大田区社協も支援しています。

ほほえみごはんサポーターの活動に密着!



「ほほえみごはん」とは…

「食」を通じて子育て世帯の孤立を防ぐ大田区社協の事業です。お子さんのいるご家庭に「ほほえみごはんサポーター（絆サポーター）」がひと月に1回食料品と地域の情報をお届けしています。ゆるやかにつながりながら地域の子育てを見守り、応援しています。（利用期間1年）。

「ほほえみごはんサポーター」募集中です！
詳しくはこちら



ほほえみごはん、
楽しく活動しています！
本日最後のほほえみごはんの
お届けです！

ほほえみごはん
お届けの準備開始！
ご家族に渡す
「ほほえみカード」に
イラストを描きます。



家族のイラスト
出来上がり！



お菓子
喜んで
くれるかな…

今月分の食品を
カバンに詰めて…



一年間
おつかれさまでした！

感動しました！
本当に
嬉しかったです！



お子さんから
1年間のお礼の手紙を
受け取りました！



これまでお渡しした
カードが玄関に
飾られていました。



ピンポン

ご利用世帯の
ご自宅に到着



ほほえみごはんを直接手渡します。

「れんげの会子ども食堂withおとな」の活動ご紹介

子どもたちの居場所と家庭だんらんの場を作りたいという思いで子ども食堂を設立し、7年目を迎えます。子どもたちに笑顔になってほしい。そんな思いで活動を広げ、現在は「れんげの会」の他に無料塾（絆倶楽部）やダンスチーム（絆蓮華組）等子どもたちの居場所づくりの活動に力を入れています。

参加者のメッセージ

太田祐聖さん(中学3年生)

絆倶楽部に参加して、勉強していました。今は絆蓮華組と一緒に活動し、地元のお祭りに参加しています。和太鼓のプロ演奏家として世界で活躍したいという夢があります。



田村綾さん(小学5年生)

幼稚園の頃から参加していて、今はボランティアの一員として調理のお手伝いをしています。「れんげの会子ども食堂が大好きで、僕にはなくてはならない存在です。」



私たちの子ども食堂は、子どもたちの才能を発見し応援していく活動を行っています。



れんげの会子ども with おとな
HP <https://rengenkai.org>

メール lolo-pon@i.softbank.jp



れんげの会子ども食堂

日本の伝統文化「将棋」を取り入れた、
学習支援団体「ユースコミュニティ」の活動

日本財団の助成をきっかけにスタートした小学生教室は、基礎学力の定着を目指した学習支援だけでなく、学びの土台となる「非認知能力」向上のため、日本の伝統文化「将棋」を取り入れています。

日本将棋連盟公認の「将棋普及指導員」の指導のもと、将棋のAIソフトを活用しながら、子どもたちが上達していく楽しさを実感し、自己肯定感につながりたいと思っています。

子どもたちだけではなく、ボランティアスタッフにも将棋の魅力が浸透し、対局を楽しむ多世代交流の時間になっています。

藤井名人の活躍もあり、静かなブームになっている将棋。この機会に子どもたちと一緒に覚えてみませんか。

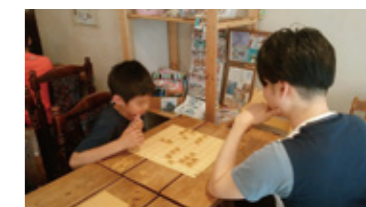
特定非営利活動法人ユースコミュニティ
〒143-0024 大田区中央8-22-13
メール youthcommunityota@gmail.com

子どもたちの声

王将
AIだと、コツが
わかりやすくていい！
(小6)

飛車
最初はあまり興味
なかったけど、教えて
くれると楽しかった
(小4)

角行
(クリスマス)プレゼントに、
将棋セットを約束してくれる
(小3)



開催報告 おおた広がれボランティアのつどい2024

主催:社会福祉法人大田区社会福祉協議会
共催:大田区・大田区社会福祉法人協議会(おおた福祉ネット)

2024年12月15日(日)、「おおた広がれボランティアのつどい2024」をカムカム新蒲田にて開催しました。第1部は、日本福祉大学学長の原田正樹先生による基調講演「ボランティア活動が育む 共に生きる力」、第2部は、特技ボランティア、こども食堂、絆サポーター、傾聴ボランティア、災害ボランティアの方々にご登壇いただき、活動を始めたきっかけや活動を続ける原動力などをお話しいただきました。参加者の皆様からは「ボランティアをやってみようと思いました」「ボランティアを様々な視点から考えることができました」等の感想があり、ボランティアの力を改めて知る機会となりました。



参加者の皆様と笑顔でハイポーズ♡



特技ボランティア
メロディクルーズ
榎田 純二さん
榎田 悦子さん



こども食堂
羽田のこのご食堂
渡司 幸さん



絆サポーター
小林 正二さん



傾聴ボランティア
話の泉会
結城 美幸さん



災害ボランティア
小野 紀之さん



♪合言葉は「みんなが主人公」♪

参加者の感想

原田先生のお話、ボランティアさんたちのお話、ともに自分の活動の糧にさせていただきます。ありがとうございます。

色々なボランティアのお話を伺って、皆様一生懸命それぞれにボランティアを実践なさっていらっしゃることに感激致しました。

原田先生の話は、とても心にしました。勉強になり、心を新たにします。



原田 正樹 先生



会場内にボランティア募集等のチラシを用意

福祉体験用学習器材を貸出ししています

地域で暮らすさまざまな人たちの理解を深めるために、大田区社協では学習に必要な器材貸出を行っています。

New! 小学生用の
高齢者疑似体験セットを
新たに貸出追加します!



妊婦体験ジャケット

白杖

点字器

車いす

高齢者疑似体験セット

避難所ゲーム HUG

育児体験セット

高齢者疑似体験セット (キッズ用)

福祉体験学習器材貸出はコチラ



ボッチャ

カーレット

※講師の派遣も行います

ユニバーサルスポーツ体験事業はコチラ



対象 大田区内に住所を有する者又は機関団体
費用 無料
貸出期間 7日以内
予約 使用予定日の3か月前より受付
※器材の使用場所は、大田区内に限ります。
※営利を目的とする事業、参加者に費用負担を求める事業には貸出出来ません。

企業の地域貢献活動(CSR)をサポートしています

大田区の企業とそこで働く方々が、「地域の一員として、地域のために何かの形で力になりたい」という思いで行う地域貢献活動をおおた地域共生ボランティアセンターが企業の強みを活かしてサポートしています。これから取り組みを検討されている企業・法人の皆様には、どのような活動に取り組まれると地域の方の期待に応えることになるのかなど、より効果的な活動のご紹介・相談対応をします。

活動事例

●食料の仕分けボランティア

区民の方からご寄附いただいた食料品を、食料品のカテゴリー別に仕分けする活動をしていただいております。



▲大田屋電機工業㈱の皆さん



▲㈱エクスオテックの皆さん

●社内フードドライブ

企業さんが、社内にてフードドライブを実施していただいております。



▲みずほ銀行 大森法人部 蒲田支店 大森支店様より

- こども食堂とのコラボイベント
- NPO団体とのコラボイベント
- ほほえみごはん事業(大田区社協の事業)のサポーター



詳しくはこちらから

あなたにもできることがきっとみつける！ 大田区のボランティアさん募集

活動を希望される方は、詳しくは本会ホームページ等で
ご確認いただくか、各施設等へ直接電話等でお問い合わせください。

📅活動日時 📍住所・活動場所 👤募集人数・対象(男女は限定時表記) 🚗交通費 📞問合せ先 📌担当者

高齢者の方との活動

「ゴールデン鶴亀ホーム」は、特別養護老人ホーム、ショートステイ、居宅介護支援事業の複合施設です。お話し相手、お茶出し、おしぼりたたみ、レクリエーションの補助等、「心暖まる」より良いサービス向上のため、お力をお貸しください。




📅 月1~2回・月曜日~土曜日、10:00~12:00
または13:00~15:00 応相談
📍 矢口1-23-12 東急線武蔵新田駅下車 徒歩5分
👤 数名、高校生可
🚗 応相談
📞 ゴールデン鶴亀ホーム ☎03-3758-1810
📌 かわだ

「かもめホーム」は、定員5名の小さな高齢者ホーム、住宅型有料老人ホームです。暖かい夕食作り、買物、食材確認、片付け等、お料理の好きな方歓迎です。また、ボランティアでの楽器演奏者も探しています。



📅 毎週月曜日・水曜日・金曜日(全部でなくても可)、15:00~17:00 応相談
📍 大森西5-12-15 京急線大森町駅下車 徒歩1分
👤 1名、高校生不可、エプロン持参
🚗 なし
📞 かもめホーム ☎03-5767-9229
📌 わたなべ・さしだ


「ウェルネスジム山王」は、医療法第42条に定められたメディカルフィットネスで、疾病予防型健康増進施設です。疾患をお持ちの方でも、医師の管理下で安心して運動して頂ける施設です。トレーニング機器・備品の消毒、清掃等をお願いします。



📅 毎週月曜日~土曜日 12:30~13:50
📍 東雪谷1-13-1 ウェルサイト東雪谷2階 東急線洗足池駅・石川台駅下車 徒歩9分
👤 若干名、高校生可、動きやすい服装・スニーカー持参
🚗 一律1,000円
📞 ウェルネスジム山王 ☎03-3748-6250
📌 ひらばやし

障がい児・者との活動


「おおむすび」は、大田区内にある障がい者施設が連携して、施設利用者の工賃向上・社会参加を促進し、この取り組みを強化広げるためにボランティアを募集しています。区役所での「おおむすび縁市場」運営のお手伝い、イベント時の販売スタッフ等です。



📅 毎週平日・土曜日・日曜日 応相談
📍 大田区役所内、区内商業施設等
👤 高校生可
🚗 なし
📞 おおむすび連絡会事務局 志茂田福祉センター内 ☎03-3734-0763
メール shinkama@city.ota.tokyo.jp
📌 とみざわ


こども支援

「森の保育園」は認可保育園で、小・中・高校生の職場体験、妊婦さんの出産前後の親体験、未就学児の赤ちゃん食堂の保育所体験等を行っています。保育園のお子さんと交流する、育児職場体験を希望の小・中・高校生を募集中です。



📅 毎週月曜日~金曜日 15:00~17:00
📍 仲池上1-27-20 グリーンライフ仲池上1階 上池上循環バス八幡神社前下車 徒歩3分、都営地下鉄線西馬込駅下車 徒歩15分
👤 1日先着2名、小・中・高校生、動きやすい服装・筆記用具持参
🚗 なし
📞 森の保育園 ☎03-3754-2525
📌 えとり

「ベストキッズ」は、様々な事情で学校の勉強についていくことが困難な状況の小・中学生を対象に、大田区内で4教室を運営中です。こどもの立場に寄り添い、一緒に宿題やワークに取り組みます。糎谷教室でのボランティア活動に、参加してみませんか。



📅 毎週月曜日・木曜日・金曜日他、17:45~21:15(他の教室・曜日希望は別途応相談)
📍 糎谷教室・西糎谷2-14-5西糎谷文化センター JR蒲田駅 京急バス仲糎谷下車 徒歩3分
👤 若干名、高校生可、長期固定継続できる方、理数系得意な方歓迎、筆記用具・学習資料持参
🚗 一律1,000円
📞 担当者 ☎090-8308-8880
📌 はかた

地域

「日本骨髄バンク地区普及広報委員」は、16歳からできる献血協力の広報として、大田区内の献血会場で、献血呼びかけと献血受付の案内ボランティアを募集しています。参加者には、日本赤十字社より「ボランティア活動証明書」が発行されます。



📅 毎月土曜日・日曜日・祝日2~3日実施、9:45~11:30または13:45~15:30
📍 JR蒲田駅西口、JR大森駅東口、他区内会場
👤 高校生可
🚗 なし
📞 担当者メール volu74sonoyama@gmail.com
📌 そのやま

お知らせ

地域福祉フォーラム
~70万人のしあわせな暮らし~
講演テーマと講師が、変更となりました。

講演 「大田区らしい地域共生社会」
講師 諏訪 徹氏
日本大学文理学部社会福祉学科教授
東京都社会福祉協議会・地域福祉委員会
地域福祉推進ワーキング座長

日時 令和7年2月11日(火・祝) 13時~17時
会場 新蒲田1丁目複合施設
「カムカム新蒲田」多目的室
主催 大田区 社会福祉法人大田区社会福祉協議会
共催 大田区社会福祉法人協議会(おおた福祉ネット)
問合せ おおた地域共生ボランティアセンター
TEL 03-3736-2266 FAX03-3736-5590
メール kyousei@ota-shakyo.jp

ボランティアさん募集の最新情報は、
大田区社協HPでもご覧になれます



\\ ちょっと気になる団体紹介 //

ボランティア スポット



特定非営利活動法人 どこでもオリヒメ

外出困難でも社会とつながりたい

どこでもオリヒメは、分身ロボットOriHimeやZOOMなどのオンライン・ツールを活用して、様々な理由で外出に制約のある方が働いたり、地域のイベントに参加したり、自分らしく生きることのできる社会を目指して活動しています。



ふれあいフェスタでの売り子体験

分身ロボットを使ったリモートによる就労支援としては、①月に数日、区役所にて障害者福祉施設の製品の共同販売事業、②区内イベントでの売り子体験をしています。

その他、分身ロボットを使った朗読ほかイベント、わくわくサマースクールでは、小学生に楽しみながら分身ロボットを体験してもらいました。

「外出困難でも社会とつながりたい」、その可能性を広げたい、そういった広がりをも「地域から」盛り上げたい、という思いで、大田区に縁のあるメンバーを中心に活動を始めました。

現在、就労支援の参加者からは、「働いた手当てで買い物ができる」「接客するのが嬉しい」と喜んでいただいています。また、仲間同士助け合ったり、積極性を増すという効果があり、イベントでの朗読にも挑戦いただきました。

少しずつではありますが、外出に困難を抱える方の「自分らしく生きる」を実現する手助けができていますと実感します。

活動を継続し、さらに推し進めていくため、精一杯励みます！そのためには、十分な人手が必要です。一緒に活動を支えてくださる仲間を募集しています。ぜひお気軽にご連絡ください。



分身ロボットが朗読しています

問合せ先 特定非営利活動法人 どこでもオリヒメ

メール doko.ori.ota@gmail.com

https://www.facebook.com/DokoOriOta



特技ボランティアさんご紹介

問合せ

おおた地域共生ボランティアセンター

ジュニアダンス

シンデレラ

地域の子どもたちにいろいろなダンスを楽しく踊ってもらいたいと、1988年に創設したサークルです。3歳～小学生で仲良く練習しています。かわいい衣裳を着て踊りますので、見ていただけると嬉しいです。お声がけをお待ちしています。



ハーモニカ演奏

遠藤誠さん

小学校3年からサラリーマン時代も通していつもハーモニカと一緒に。定年間に網膜色素変性症になり70歳で完全に失明。ハーモニカ教室の



先生から人前で演奏を勧められ、あちこちの施設に演奏に行くようになりました。米寿を迎えたいま喜んでいただけると嬉しいです。ガイドヘルパーさんとどこへでも伺いますのでお声がけください。

編集後記

今回の特集は、「子ども応援ボランティア」。

子どもたちが安心して過ごせるよう、地域で様々な形でサポートしているボランティア活動を紹介しました。取材へのご協力ありがとうございました。

活動にご興味のある方は、お気軽にお問合せください。(鎌田)